

H25年度  
下半期

# 市の財政事情を報告します

平成26年  
3月31日現在の  
執行状況

市民の皆さんに納めていただいた税金やそのほかの歳入などが、どのようなことに使われたのかを知っていただくため、財政執行状況をお知らせします。

出納整理の期間（4月1日～5月31日）の数字が含まれないため、決算の数字とは異なります。

※表の金額は概算です。

## ■一般会計 歳入の状況

科目	予算現額	収入済額	収入率
市税	145億3,706万円	144億4,554万円	99.4%
地方譲与税	5億7,655万円	5億5,660万円	96.5%
地方消費税交付金	9億8,046万円	9億6,444万円	98.4%
地方交付税	106億4,925万円	111億8,159万円	105.0%
分担金及び負担金	8億3,183万円	6億6,707万円	80.2%
使用料及び手数料	5億151万円	4億7,961万円	95.6%
国庫支出金	59億6,721万円	42億8,191万円	71.8%
県支出金	30億8,683万円	27億8,884万円	90.3%
繰入金	9億7,937万円	1億7,735万円	18.1%
繰越金	13億6,789万円	13億6,789万円	100.0%
諸収入	9億2,513万円	7億2,759万円	78.6%
市債	64億8,350万円	20億1,480万円	31.1%
その他	6億2,140万円	7億6,748万円	123.5%
合計	475億799万円	404億2,071万円	85.1%

## ■一般会計 歳出の状況

科目	予算現額	支出済額	執行率
議会費	3億1,092万円	2億9,571万円	95.1%
総務費	76億5,111万円	44億4,242万円	58.1%
民生費	140億3,231万円	121億4,154万円	86.5%
衛生費	48億2,989万円	37億6,634万円	78.0%
労働費	1億6,163万円	1億2,778万円	79.1%
農林業費	17億4,133万円	14億512万円	80.7%
商工費	5億7,265万円	5億4,176万円	94.6%
土木費	42億501万円	27億2,415万円	64.8%
消防費	16億2,329万円	14億3,042万円	88.1%
教育費	39億4,078万円	30億3,912万円	77.1%
災害復旧費	16億7,162万円	7億7,558万円	46.4%
公債費	67億3,745万円	67億3,335万円	99.9%
予備費	3,000万円	0円	0.0%
合計	475億799万円	374億2,329万円	78.8%

※市の借金である市債の収入済額は20億1,480万円であり、市債の予算現額に対して31.1%の収入です。収入率が低いのは5月に借りの金額が大きいためです。また、予算現額には繰越明許費\*を含んでいます。

\*繰越明許費：翌年度に限り繰り越して使用することができる予算のこと

## ■市税の状況

皆さんに納めていただいた税金のうち、固定資産税がもっとも多く、収納額は74億8,340万円です。また、市民税の収納額は55億4,772万円で、市税全体に対して約38.4%となっています。

区分	予算現額	収納額	収納率
市民税	57億295万円	55億4,772万円	97.3%
固定資産税	74億2,829万円	74億8,340万円	100.7%
都市計画税	27万円	35万円	129.6%
特別土地保有税	4億2,920万円	4億2,920万円	100.0%
軽自動車税	2億3,184万円	2億4,343万円	105.0%
市たばこ税	6億8,565万円	6億7,556万円	98.5%
鉱産税	5万円	5万円	100.0%
入湯税	5,881万円	6,583万円	111.9%
合計	145億3,706万円	144億4,554万円	99.4%

## ■特別会計・財産区特別会計 歳入歳出の状況

	会計名	予算現額：A	歳入		歳出	
			収入済額：B	収入率 B/A	支出済額：C	執行率 C/A
特別会計	国民健康保険事業	107億4,572万円	96億8,116万円	90.1%	94億435万円	87.5%
	住宅新築資金等貸付	1億3,159万円	3,044万円	23.1%	1億3,008万円	98.9%
	駐車場事業	3,804万円	3,552万円	93.4%	2,086万円	54.8%
	介護保険事業	96億6,316万円	89億6,201万円	92.7%	87億6,954万円	90.8%
	農業集落排水事業	33億4,138万円	17億9,998万円	53.9%	18億8,302万円	56.4%
	公共下水道事業	8億1,734万円	7億4,933万円	91.7%	6億940万円	74.6%
	浄化槽事業	2,312万円	1,922万円	83.1%	1,930万円	83.5%
	サービスエリア	1,374万円	1,249万円	90.9%	720万円	52.4%
	市街地再開発事業	3億809万円	1億8,047万円	58.6%	2億9,092万円	94.4%
	後期高齢者医療	9億8,017万円	8億2,812万円	84.5%	8億3,635万円	85.3%
	財産区	島ヶ原財産区	2,935万円	2,918万円	99.4%	756万円
大山田財産区		5,035万円	5,032万円	99.9%	646万円	12.8%
合計		261億4,205万円	223億7,824万円	85.6%	219億8,504万円	84.1%



## ■基金

基金とは家計に例えると貯金のようなものです。基金の総額は166億4,384万円で、そのうち土地は、14,309.64㎡です。主なものは次のとおりです。

区分	基金額
財政調整基金	41億9,044万円
伊賀市振興基金	30億5,428万円
庁舎建設基金	14億5,450万円
国民健康保険給付費支払準備基金	11億8,273万円

## ■一時借入金

一時借入金とは、支払いのための現金不足を補うために借り入れる資金で、同じ会計年度中に返済されるお金です。一時借入金は次のとおりです。

区分	借入残高
特別会計	7億円
(内訳：農業集落排水事業)	7億円)



## ■問い合わせ

財政課

☎ 22-9608 FAX 22-9694

## ■一般会計 市債の状況

区分	残高
総務債など	294億3,257万円
教育債	112億4,928万円
土木債	81億4,754万円
保健衛生債	30億7,611万円
農林債	17億4,970万円
合計	536億5,520万円

## ■特別会計 市債の状況

会計名	残高
国民健康保険事業(直営診療所)	1,456万円
住宅新築資金等貸付	7,877万円
農業集落排水事業	101億1,540万円
公共下水道事業	71億278万円
浄化槽事業	1億1,297万円
市街地再開発事業	0円
合計	174億2,448万円

## ■企業会計 市債の状況

会計名	残高
水道事業	184億7,897万円
病院事業	17億8,652万円

## ■財政の動向および市長の財政方針

昨年度の国の経済状況については、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」の「三本の矢」による一体的な経済政策の効果から、企業収益の増加に伴い設備投資が持ち直すとともに、雇用・所得環境が改善に向かい、景気回復の動きは広がっております。

次に、本市の財政状況ですが、景気回復の兆しはありますが、引き続き厳しい雇用情勢や高齢化に伴う所得の減少などにより個人所得は伸び悩んでいることなどから市税収入については微減するの見込んでいます。また、歳出では公債費や扶助費など義務的経費が増大しているほか、病院事業での医師不足に起因する運営資金不足を解消するために財政健全化補助金の繰出が必要となっております。

今年度の予算編成にあたっては、このような財政事情を踏まえ、「ムダのない勇気と覚悟のまちづくり」の推進を基本方針とします。具体的には、行財政改革大綱に基づき、身の丈にあった財政運営を行うためにさらなる適正な受益者負担や自主財源の確保に努めるほか、事務事業評価にもとづき、事務事業のスクラップアンドビルドを推進しています。

特に、来年度からの地方交付税の減額による一般財源の不足に備えて、必要性が低い事業について廃止の検討を行うとともに、効果の薄い事業について縮減を図るなど、さらなる事業の見直しに取り組んでいきます。

平成26年5月

伊賀市長 岡本 栄